

大企業における 健康経営の取り組み



2025年3月28日

富士通株式会社 健康推進本部

エグゼクティブ・アドバイザー

三宅 仁



アジェンダ

- I. Corporate Profile
- II. 富士通の健康経営
- III. 健康推進部門
- IV. 健康施策紹介

Fujitsu Corporate Profile 2024



本店

神奈川県川崎市中原区上小田中4-1-1

創立

1935年

代表取締役社長 CEO

時田隆仁

事業概要

サービスソリューション
ハードウェアソリューション
ユビキタスソリューション
デバイスソリューション

(注) * 2024年3月末現在

(注) ** 2023年度連結概要 (2024年3月31日終了会計年度)

従業員*

124,000 人

売上収益**

3兆7,560億円

営業利益**

2,836億円

研究開発費**

1,233億円
売上収益比3.3%

上場証券取引所

東京 (コード 6702)
名古屋

89年のイノベーション

通信機器製造

1935

通信機器製造会社として誕生。
日本の通信網整備に重要な役割を果たす。



通信と電子

1950s to 1990s

富士通初のコンピュータ開発に成功。
様々な分野でお客様とともに先進的なシステム開発に挑戦。



コンピュータ開発

コンピュータの登場が科学技術の進歩を加速。産業の生産性が飛躍的に向上。

爆発的に普及したインターネットはライフスタイルやビジネスモデルに変化をもたらす。
富士通は時代に対応したさまざまな製品・サービスを提供。



総合ICT

サステナビリティ

2020s

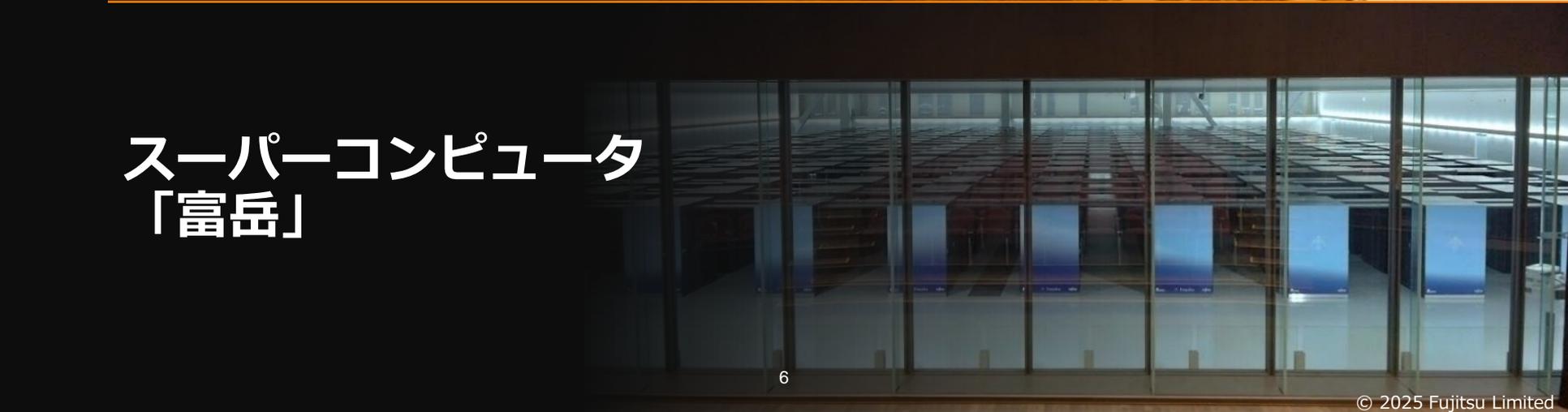
持続可能な発展への貢献

2030年のビジョン達成に向け、Fujitsu Uvanceを中心とした成長領域にリソースを集中することで、お客様の経営課題と社会課題の解決を目指します。





量子コンピュータ



スーパーコンピュータ 「富岳」



**本店 Fujitsu Technology Park
(神奈川県川崎市中原区)**



富士通クリニック

富士通健康管理センター



Fujitsu Uvance Kawasaki Tower (神奈川県川崎市幸区)







Work Life Shift

2020年7月発表

FUJITSU

固定的なオフィスに出勤する従来の通勤の概念を変え、多様な人材が高い自律性と相互の信頼に基づき、場所や時間にとらわれず、お客様への提供価値の創造による社会の変革に継続的に取り組むことができる働き方を実現するため、人事制度とオフィス環境整備、組織カルチャー変革の面から、様々な施策を推進しています。



Smart Working

最適な働き方の実現



Borderless Office

オフィスのあり方の見直し



Culture Change

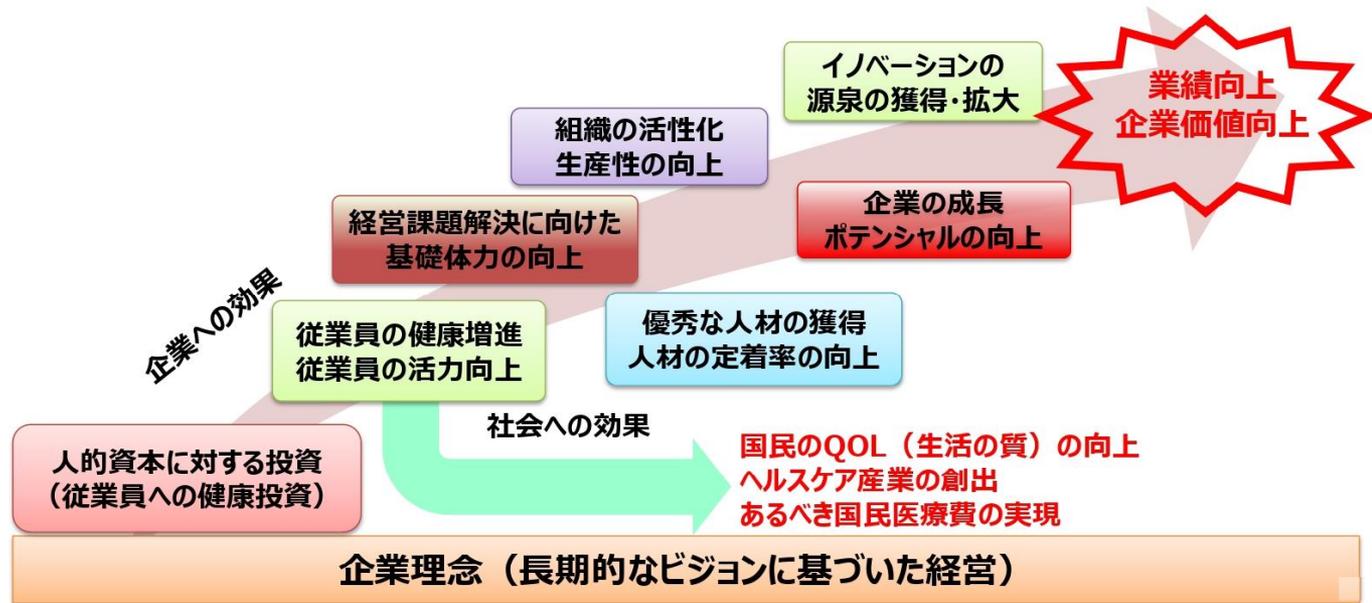
社内カルチャーの変革

II. 富士通の健康経営

2024年9月に川崎市へ移転
汐留シティーセンター
(東京都港区東新橋)

「健康経営・健康投資」とは

- 健康経営とは、従業員の健康保持・増進の取組が、将来的に収益性等を高める投資であるとの考えの下、健康管理を経営的視点から考え、戦略的に実践すること。
- 健康投資とは、健康経営の考え方に基づいた具体的な取組。
- 企業が経営理念に基づき、従業員の健康保持・増進に取り組むことは、従業員の活力向上や生産性の向上等の組織の活性化をもたらし、結果的に業績向上や組織としての価値向上へ繋がることを期待される。



従業員の健康管理

伝統的な取組み（安全衛生法）

1次予防（悪化防止）

2次予防（早期発見）

3次予防（再発防止）

健康管理・人事担当

+

職場環境・働き方

ワーク・ライフ・バランス

長時間残業

長期雇用

職場風土

現場・経営戦略

企業全体・経営戦略としての取組みが必要



健康経営

■ 人的資源（労働）重要性



■ 職務遂行能力と健康

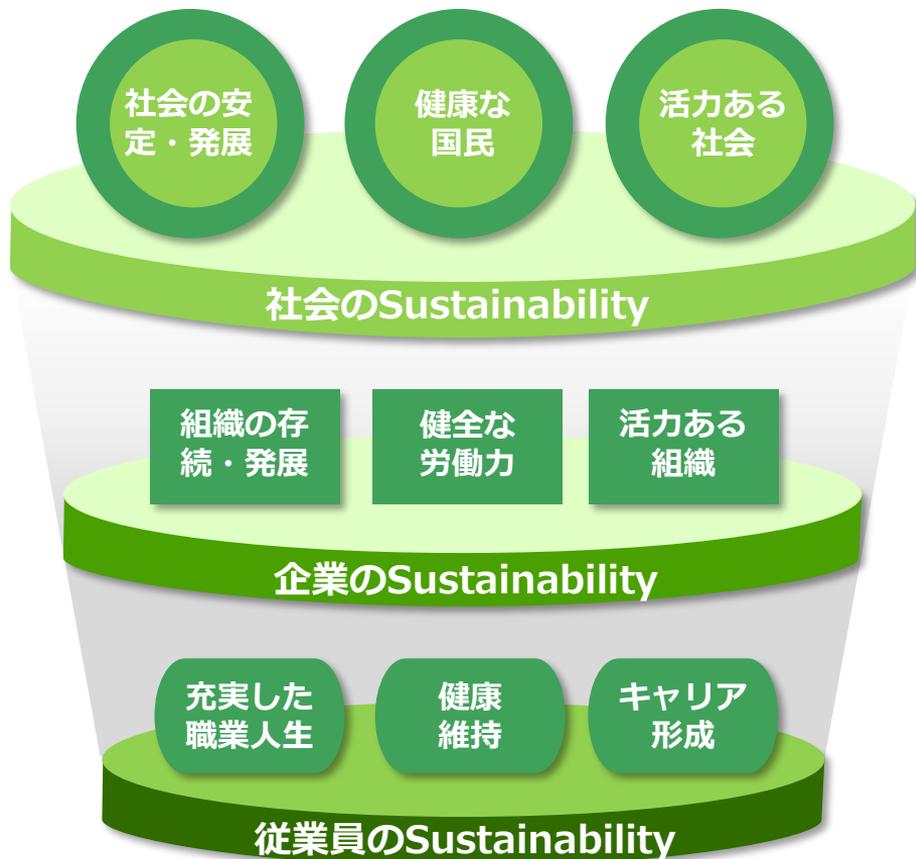
$$\text{人的資本} \div (\text{職務遂行能力}) = (\text{職務スキル}) \times (\text{健康})$$

教育・訓練

健康経営

雇用の流動性が低く、かつ高齢化を背景に、限られた労働力を活用しなければならない、日本の企業にとって、**従業員の健康は経営戦略として取り組むべき課題**である

健康経営のゴール 3つのSustainability



富士通グループ健康宣言

富士通グループは、イノベーションによって社会に信頼をもたらし、世界をより持続可能にしてい
くために、社員一人ひとりが心身ともに健康でいきいきと働くことができる環境づくりを目指します

《取り組み方針》

1. これまで取り組んできた健康の保持・増進活動をさらに強化するとともに、社員一人ひとりの自律した健康管理を積極的に支援します。
2. 「働き方改革」「ダイバーシティ推進」の取り組みと連携させて、社員と家族の健康の保持・増進、ワーク・ライフ・バランスの実現、生産性の向上、多様な社員が活躍できる職場づくりなどを総合的に推進します。
3. 健康経営に資するICTの提供を通じて、社員、お客様、および社会全体の健康づくりや生産性の向上に貢献します。

《重点施策》

1. 生活習慣病・がん対策
2. メンタルヘルス対策
3. 口腔・歯の健康対策
4. ヘルスリテラシー・健康意識向上、生活習慣改善
5. 職場環境整備



自分事化の取り組み

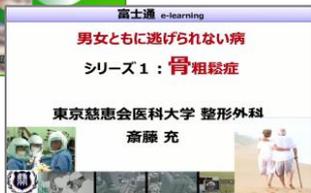
健康診断やイベント等で、e-Learningで学習した事を体験することで、学習を強化

①学習

すべての人が基礎的な知識を習得



eラーニング



セミナー

②体験

学んだことを体感、自分事に感じられる機会を提供



InBody



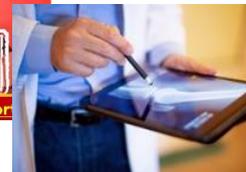
骨密度測定



ロコモ度テスト



フィットネス



精密検査
治療

③実践

各自にあった行動を实践



ウォーキングイベント



食事

経営施策としてトップメッセージ、社外広報

- トップメッセージやセミナーで e-Learning 受講の目的・必要性を伝え、動機づけを図る
- 社内外への広報活動により、従業員の関心を高める

トップメッセージ/セミナー

PRESS RELEASE



- トップメッセージ発信、セミナー開催により e-Learning 実施の必要性、目的を伝え、受講への動機づけを図る

- PRESS RELEASEにより社会に発信、同時に社内報へ掲載
- メディアに掲載を通じて、従業員の関心を高める

Ⅲ.健康推進部門



富士通クリニック

富士通健康管理センター

健康経営のあゆみ



結核管理

早期発見・早期治療

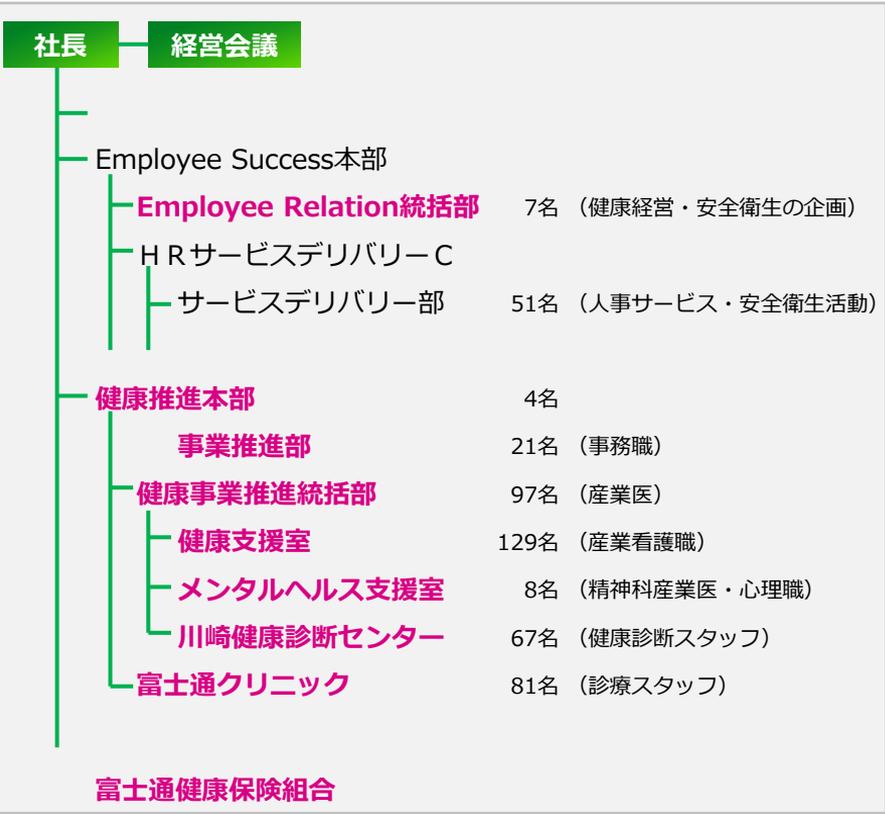
メンタルヘルス

1944 診療所開設	1963 富士通川崎病院建設	1971 健康管理部門分離	1976 健康管理センター建設	1993 富士通川崎病院建替・健診センター拡張	2004 e診断(ストレスチェック)開始	2009 健康年推進本部設立	2010 富士通病院病棟廃止 富士通川崎に改称 (CT,MRI導入) 脳・肺ドック開始
1951 富士通通信機病院開設		1971 成人病健診(40歳以上) 開始(胃がん検診)			1999 歯科健診 対象者縮小(35,40)	2005 職場復帰プロセス・ 関連規定見直し	
	1966 非常勤精神科産業医配置 精神衛生教育開始		1973 常勤カウンセラー配置	1986 婦人科健診(乳がん・ 子宮頸がん)開始 (半額補助)	1995 成人病健診に35歳追加 歯科健診開始 (35,40以上奇数年齢) ↓ (1999年 35,40歳に縮小)	2006 階層別教育 メンタルヘルス研修必須化	2012 婦人科健診 (全額補助)
	1968 非常勤カウンセラー配置			1989 便潜血検査導入 (大腸がん検診)	1996 多項目健診導入(36~39歳)	2007 幹部社員職場マネジメント研修開始 男性50歳以上PSA開始	2013 歯科健診 対象者拡大 (25,30,35,40)
1964 健診データ入力開始		1976 健診システム稼働		1986 健康管理システム稼働	2001 長残健診システム稼働	2006 職場づくり支援 スタッフ任命	

健康経営

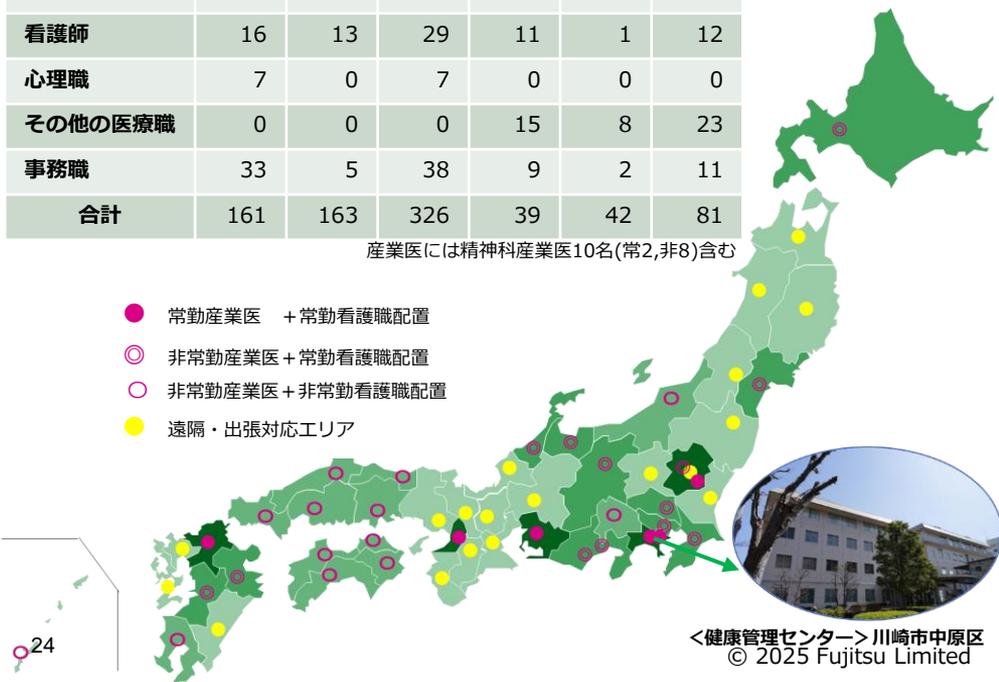
2016 富士通関西・工場 健康管理機能集約	2017.8.1 健康宣言制定	2019 健康情報取扱規定制定 長時間残業者健診内規改訂	2021 富士通全事業所 健康管理機能集約	2022 グループ会社 健康管理機能集約	2023 富士通クリニック予防型歯科転換 婦人科健診 内規項目化 各種健康管理内規改訂	2024.3 (8年連続) 健康経営優良法人 (初付500) 認定
2014 健康経営度 調査回答開始	2017 (初回) ----- 健康経営優良法人 (初付500) 認定		2021 健康経営銘柄初選定			
2015 重症化予防 事業開始		2019 全社健康教育(e-learning)開始 2019年度「がん予防」 2020年度「頭痛対策」		2022年度「腰痛対策」	2023年度「予防歯科」 2023 川崎健診センター 骨密度・体組成検査導入	2024 歯科健診対象者拡大 (+45,50,55,60)
2016 ストレスチェック 法制化対応	2018 みんなで歩活 みんなで禁煙 チャレンジ開始	2020 便潜血検査2回法統一 生活習慣病健診® 叫菌 抗体検査導入	2021 健康通信簿開始			2024 30歳時健診全員事後面談 AI支援サービス試行
2017 常勤精神科産業医配置	2019 全社オンライン 健康セミナー開始 (がん・女性・食育・予防歯科…)		2021 新健康情報システム(LHA)稼働			2024.3 「女性からだ会議@大賞」 インバト賞
		2000.3 がん対策推進企業アクション 令和元年度がん対策推進 パートナー賞	2000.10 女性からだ会議大賞 2023 優秀賞		2022.3 IHS-GPAC 世界の頭痛対策リーダー 企業に認定	2022.12 スポーツ庁 体力づくり国民会議議長賞

健康経営体制 組織と担当者数



	健康推進部門			診療部門		
	常勤	非常勤	合計	常勤	非常勤	合計
産業医	16	83	99	0	0	0
その他の医師	0	43	43	4	31	35
保健師	89	21	110	0	0	0
看護師	16	13	29	11	1	12
心理職	7	0	7	0	0	0
その他の医療職	0	0	0	15	8	23
事務職	33	5	38	9	2	11
合計	161	163	326	39	42	81

産業医には精神科産業医10名(常2,非8)含む





約350人の専門家集団

■ 産業保健分野の社員の専門家集団

産業医や保健師、心理士といった産業保健分野の専門家約350人が社員として在籍。産業保健・衛生に関する知見はもとより、富士通グループの事業や業務内容にも精通した専門家が、健康面をサポート。

■ データドリブンな健康経営

健康診断やストレスチェック、病気による休業やがんの発生状況といった社員の健康に関するあらゆる膨大なデータを保有し、それらの分析結果に基づく健康管理施策を実施。

■ 外部連携

第一線で活躍中の先生や、各種機関と連携できるということも、富士通の健康推進体制の強み。

IV. 健康経営施策紹介

- 生活習慣病・がん対策
- メンタルヘルス対策
- 口腔と歯の健康施策
- ヘルスリテラシー向上・生活習慣改善
- 職場環境整備



〈生活習慣病対策〉健康情報システム F@mily

- 健康診断結果、経年変化を自分自身で、PCやスマートフォンからいつでも参照できるシステムを提供。
- 健診診断結果の正しい理解を図る情報を提供するとともに、将来の健康リスク等のシミュレーション機能を提供し、健康意識の向上を図るとともに、精密検査や医療機関受診の勧奨。

ヘルスアップF@mily Home 健診結果 保健指導 食事 運動 富士通 花子 様

Home > 健康情報 > 私の健康情報 > 健診結果リスク表示

健診結果リスク

受診日: 2016年08月18日 受診日を選択して、発症確率やグラフを確認してみましょう 検索条件変更

○○○測定ツール (対象年齢:40歳以上)

あなたの血管年齢		10年後の疾病発症倍率	
実年齢相当	説明	循環器疾患 0.6倍	脳卒中 0.6倍 △1.2倍
		詳細	説明

リスク軽減 シミュレーション

健診結果：レーダーチャート

項目カテゴリー

それぞれ、下記のような食習慣がある方に高確率が予想されます。

- A 食事量そのものが多い、アルコールが多い
- B 脂っこい食事が多い
- C お菓子、ジュース、アルコール、主食が多い
- D 塩分が多い
- E 甘いもの、アルコール、脂っこいものが多い

健診結果ダウンロード

ヘルスアップF@mily Home 健診結果 保健指導 食事 運動 富士通 花子 様

Home > 健康情報 > 私の健康情報 > 図で見る健康情報

図で見る健康情報

医療機関名:川崎工場 測定日:2016年08月18日

各検査項目の説明

あなたは 痩せ型 です

10件中 1 - 10件目

- 前日
- 2017年04月01日
- 2017年03月30日
- 2016年08月18日
- 2015年07月07日
- 2014年08月12日
- 2013年07月06日
- 2012年03月27日
- 2009年08月05日
- 2009年01月01日
- 2008年05月10日

あなたの健康情報

項目	判定
糖	凡例
血液	基準値の範囲外
血圧	基準値に相当
心臓	基準値の範囲内
上部呼吸器	前回数から変動大
腎臓	
身体測定	
尿酸	
BMI	

メタボリックシンドローム判定を表示します。 判定

下記の生活習慣病に注意をしましょう。

糖尿病 肥満症 脂質異常症

○○○○ ○○○○ ○○○○

※ 図で見る健康情報は主な項目のみ表示しています。全項目は数値・時系列参照をご覧ください。

〈がん対策〉 がん検診の推進

健診体系図

会社健診

任意健診

従業員

配偶者

生活習慣病健診 (30歳,35歳,40歳以上)

定期健診

特定健診(40歳以上)

- ・身長/体重/BMI/腹囲*
- ・血圧
- ・心電図**
- ・GOT/GPT/Γ-GTP
- ・空腹時血糖/HBA1c*
- ・ウアチン*
- ・尿蛋白/尿糖
- ・問診/診察

- ・視力/聴力
- ・胸部エックス線検査
- ・尿酸値
- ・総コレステロール
- ・赤血球数/色素量/ハマトクリット値
- ・血小板数

*特定健診対象者のみ実施
**30歳,35歳,40歳以上必須
その他は医師の判断

- ・胃部エックス線検査
- ・総蛋白
- ・ビリルビン
- ・尿沈渣
- ・便潜血

- ・PSA (50歳以上男性 希望者)

肺ドック(40歳以上希望者)

- ・胸部CT検査

脳ドック(30歳以上希望者)

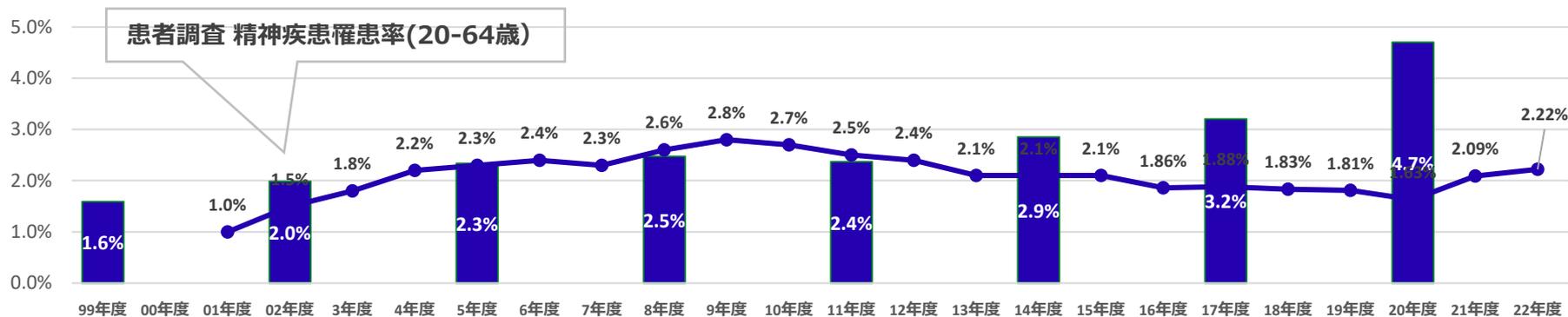
- ・MRI/MRA

婦人科健診(女性全員)

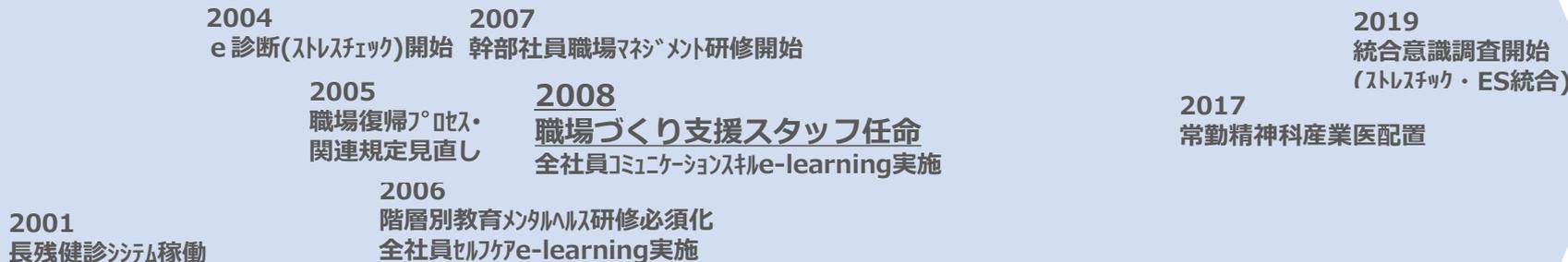
- ・乳がん検診
- ・マンモグラフィ/乳腺エコー
- ・子宮頸がん検診
- ・子宮頸部細胞診

検査・健診	対象者	実施形態		費用負担
		必須	定期健診項目	
胸部エックス線検査	全員	必須	定期健診項目	会社
胃部エックス線検査	35,40歳以上	必須	生活習慣病健診項目	会社・健保 折半
便潜血検査	35,40歳以上	必須	生活習慣病健診項目	会社・健保 折半
PSA	50歳以上男性	希望制	生活習慣病健診追加項目	健保
肺ドック (胸部CT)	40歳以上	希望制	任意健診	健保費用補助 (5年毎 上限 12,000円)
婦人科健診	女性全員	希望制	任意検診	健保費用補助 (毎年 上限 13,000円)

〈メンタルヘルス対策〉 施策の変遷



健康管理



労務管理



1. セルフケア

「労働者」

2. ラインケア

「管理監督者」



「職場づくり支援スタッフ」

ラインケアのサポートと関連部門の連携支援

3. 事業所内産業 保健スタッフによるケア

「産業医」 「保健師」
「心理職」 「人事」

4. 事業所外資源 によるケア

「事業所外の機関・専門家」

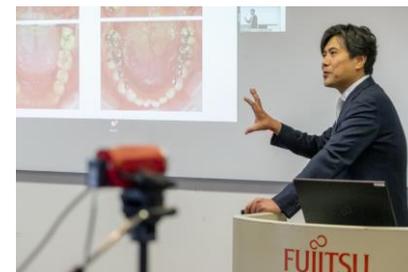
口腔・歯の健康は、全身の健康の保持増進に重要な役割を果たすとともに、生涯を通じたQOL (=Quality of life) に大きく影響することから、「口腔と歯の健康」を2022年から健康経営の重点施策に設定し、口腔および歯の健康づくりについて、歯科検診、予防歯科セミナー等の施策を行っています。

■ 歯科検診

25、30、35、40、45、50、55、60歳の方を対象に、歯牙（う蝕・破折）のチェック、歯周ポケット測定、ブラッシング指導等を行い、若年層のうちから口腔・歯の健康に関心を持ってもらうとともに、早期治療、予防を推進しています。

■ 予防歯科セミナー

JOF（注1）と連携して、予防歯科セミナー「令和時代の予防歯科」を開催し、むし歯（う蝕）・歯周病の病因論、歯科受診の方法、セルフケアの方法など、KEEP28（注2）を目指した知識普及を行っています



（注1）社団法人JOF@KEEP28 日本オーラルフィジシャンフォーラム

（注2）「KEEP28」とは、歯が生えそろってから一生を終えるまで一本も歯を失わないこと、現在の年齢から歯を失うことなく生涯自分の歯で生活すること、このことを目的とした予防歯科の社会的な取り組みです



富士通クリニック歯科部を予防型へリニューアル

全社 e-Learningを核にした健康施策

- 2019年度より富士通グループ全従業員に、年1回 e-Learningによる健康教育を実施
- 必修教育ではないが、毎年90%以上の受講率を維持
- e-Learningによる教育だけではなく、総合的な健康経営施策として実施

実施年度	テーマ	監修・協力	受講者数
2019年度	がん予防と両立支援	東京大学 中川 恵一 先生	65,578名 (92.4%)
2020年度	頭痛の正しい知識と対処法 【FUJITSU 頭痛プロジェクト】	埼玉国際頭痛センター 坂井 文彦 先生 Mayo Clinic,USA David Dodick.M.D.	73,432名 (90.5%)
2022年度	腰痛から学ぶ、身体活動と足腰の健康 【骨の健康増進プロジェクト】	東京慈恵会医科大学 斎藤 充 先生	64,650名 (92.7%)
2023年度	歯と口からはじめる健康づくり 【予防歯科プロジェクト】	University of Gothenburg Dr. Downen Birkhed	62,817名 (92.3%)



e-Learning

2019年度全社健康教育
がん予防と両立支援

2020年1月 富士通健康経営事務局

監修 中川 恵一

東京大学医学部付属病院放射線治療部門長
厚生労働省がん対策推進企業アクション議長／がん対策協議会委員
文部科学省がん教育の在り方に関する検討委員会委員

2019
健康経営優良法人
Health and productivity
ホワイト500

FUJITSU

Copyright 2020 FUJITSU LIMITED

- 監 修 東京大学医学部付属病院放射線治療部門長
中川 恵一

教材の社外提供（社会貢献）



e-ラーニング

がん予防と両立支援

受講者には修了証が発行されます！

監修：中川 恵一
東京大学大学院医学系研究科 特任教授
厚生労働省がん対策推進企業アクション議長
文部科学省「がん教育」の在り方に関する検討委員会委員など。

- e-Learningの教材をがん対策推進企業アクションに提供、がん対策推進企業アクションのパートナー企業になれば、e-Learningを無料で受講できる

e-Learning

2020年度全社健康教育

健康経営 2020
Health 2020
ホ

頭痛の正しい知識と対処法

監修 坂井文彦 (埼玉国際頭痛センター長)
五十嵐久佳 (富士通クリニック)
David Dodick (Mayo Clinic, USA)

2020年

IHS | GPAC
International Headache Society | Global Patient Advocacy Coalition

The Japanese Headache Society
Member of the Japanese Headache Society

World Health Organization

Copyright 2020 FUJITSU LIMITED

- 監修 埼玉国際頭痛センター長 坂井文彦
富士通クリニック 五十嵐久佳
Mayo Clinic, USA David Dodick

FUJITSU頭痛プロジェクト

FUJITSU頭痛プロジェクト

■ e-Learningに引き続き、頭痛セミナー、頭痛相談、専門医への紹介、頭痛教室、体操教室などのプログラムを実施します。

頭痛相談
頭痛の自覚のある人を対象とした専門医による面談

専門医紹介
頭痛教室

e-Learning
すべての人が頭痛の基礎的な知識を習得

頭痛セミナー
テーマ毎のビデオセミナーで詳しく知る

職場環境
誰もいきいきと働ける職場環境づくり

各自にあったプログラム提供

患者会
頭痛体操・ヨガ

- e-Learningに引き続き、頭痛セミナー、頭痛相談、専門医への紹介、頭痛教室、体操教室などのプログラムを実施



頭痛対策の世界的リーダー企業に認定される

現在も啓発に取り組む 頭痛の日

2月22日頭痛の日に富士通クリニックを中心にスタッフ全員が頭痛に悩む患者さんが声掛けしやすいようグリーンリボンを身に着け、頭痛持ちの方が相談しやすい環境をつくる。

スタッフ全員でリボン装着



広報媒体への掲載



e-Learning 「腰痛から学ぶ、身体活動と足腰の健康」FUJITSU

e-Learning

2022年度全社健康教育

腰痛から学ぶ、 身体活動と足腰の健康

監修 齋藤 充 (東京慈恵会医科大学)

2023年1月 富士通健康経営事務局

ロコモティブシンドローム (ロコモ) FUJITSU

- ロコモとは「立つ、歩く」といった機能が低下している状態で、運動器の障害による要介護のリスクが高いことを示している
- 何もないところでつまづく経験はロコモが始まっている兆候
- 自分の体や動きをよくみて知ることが重要

働く世代こそ、自分を知ることが働き手助に

こんな状態は要注意！ 7つのロコモチェック

- 1 片腳立ちで靴下が履けない
- 2 家の中でつまずいたり、滑ったりする
- 3 階段を上るのに手すりが必要である
- 4 家の中のやや重い家事が困難である
- 5 1年先がバックパック程度の荷物をして持帰るのが困難である
- 6 15分くらい続けて歩けない
- 7 横断歩道を青信号で渡り切れない

動画再生 (右ウィンドウ) ▶

※ 東京慈恵会医科大学ロコモティブシンドローム予防推進委員会
動画を一切改訂版より「ロコモ」の文字が削除されたものと見做すこととさせていただきます。

■ 監 修 東京慈恵会医科大学整形外科学講座
主任教授 齋藤 充

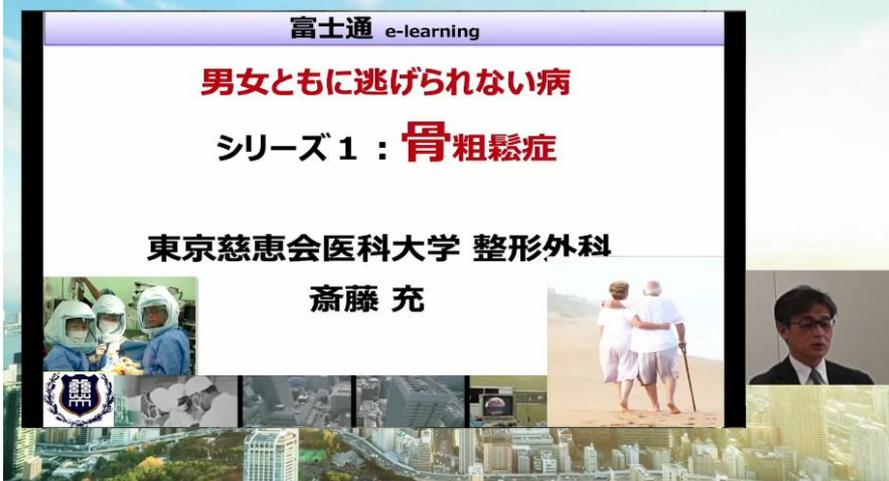
骨の健康増進プロジェクト

富士通 e-learning

男女ともに逃げられない病

シリーズ1：骨粗鬆症

東京慈恵会医科大学 整形外科
齋藤 充



■ 齋藤充先生の特別セミナーや骨密度測定を展開

e-Learning 「歯と口からはじめる健康づくり」 FUJITSU

e-Learning

2023年度 全社健康教育

歯と口からはじめる健康づくり

監修 富士通クリニック歯科
2024年1月 富士通健康経営事務局

歯と口の健康を損なう二大原因

- むし歯と歯周病は、歯と口の健康にとどまらず、生活習慣病の引き金となり全身の健康に影響を与える
- 富士通の歯科検診結果によると全国平均よりむし歯や歯周病を有する人が多い

むし歯	32%
歯周病	41%
その他	16%
総計	21%

「むし歯」の治療が必要な人	43.7%
「歯周病」のある人	60.0%
全国	41.4%

富士通 歯科検診開始年 1990年~2023年 (2015~2022年: 20,30,40歳) 2023年: 20,30,40歳
※ 1: 歯肉炎 2: 歯肉腫 3: 歯肉出血 4: 歯肉退縮 5: 歯肉肥厚 6: 歯肉腫瘍 7: 歯肉癌 8: 歯肉腫瘍 9: 歯肉癌 10: 歯肉腫瘍 11: 歯肉癌 12: 歯肉腫瘍 13: 歯肉癌 14: 歯肉腫瘍 15: 歯肉癌 16: 歯肉腫瘍 17: 歯肉癌 18: 歯肉腫瘍 19: 歯肉癌 20: 歯肉腫瘍 21: 歯肉癌 22: 歯肉腫瘍 23: 歯肉癌 24: 歯肉腫瘍 25: 歯肉癌 26: 歯肉腫瘍 27: 歯肉癌 28: 歯肉腫瘍 29: 歯肉癌 30: 歯肉腫瘍 31: 歯肉癌 32: 歯肉腫瘍 33: 歯肉癌 34: 歯肉腫瘍 35: 歯肉癌 36: 歯肉腫瘍 37: 歯肉癌 38: 歯肉腫瘍 39: 歯肉癌 40: 歯肉腫瘍 41: 歯肉癌 42: 歯肉腫瘍 43: 歯肉癌 44: 歯肉腫瘍 45: 歯肉癌 46: 歯肉腫瘍 47: 歯肉癌 48: 歯肉腫瘍 49: 歯肉癌 50: 歯肉腫瘍 51: 歯肉癌 52: 歯肉腫瘍 53: 歯肉癌 54: 歯肉腫瘍 55: 歯肉癌 56: 歯肉腫瘍 57: 歯肉癌 58: 歯肉腫瘍 59: 歯肉癌 60: 歯肉腫瘍 61: 歯肉癌 62: 歯肉腫瘍 63: 歯肉癌 64: 歯肉腫瘍 65: 歯肉癌 66: 歯肉腫瘍 67: 歯肉癌 68: 歯肉腫瘍 69: 歯肉癌 70: 歯肉腫瘍 71: 歯肉癌 72: 歯肉腫瘍 73: 歯肉癌 74: 歯肉腫瘍 75: 歯肉癌 76: 歯肉腫瘍 77: 歯肉癌 78: 歯肉腫瘍 79: 歯肉癌 80: 歯肉腫瘍 81: 歯肉癌 82: 歯肉腫瘍 83: 歯肉癌 84: 歯肉腫瘍 85: 歯肉癌 86: 歯肉腫瘍 87: 歯肉癌 88: 歯肉腫瘍 89: 歯肉癌 90: 歯肉腫瘍 91: 歯肉癌 92: 歯肉腫瘍 93: 歯肉癌 94: 歯肉腫瘍 95: 歯肉癌 96: 歯肉腫瘍 97: 歯肉癌 98: 歯肉腫瘍 99: 歯肉癌 100: 歯肉腫瘍

- 監修 富士通クリニック歯科部
- 協力 University of Gothenburg
Dr. Downen Birkhed

予防歯科プロジェクト

- 体験： 歯科健診 2024年度から費用補助対象者拡大 25/30/35/40歳→45/50/55/60歳を追加
- 実践： Fujitsu Technology Park (川崎) の歯科を予防歯科型クリニックに転換

● 健康推進本部 + 健康保険組合 + ER統括部 + FJJヘルスケア予防歯科チーム

● OneFujitsu Project since 2018

1/26 (プラス) プレミアム 予防歯科の取り組み

新たな各種活動・イベント

- ・2018年～ 全社セミナー
- ・23年9月 予防歯科開院
- ・23年10月 ビルヘッド先生講演、むし歯チェックツール監修 (予防歯科クラウドサービス)
- ・24年1月 eラーニング提供
- ・歯科検診対象拡大 歯周病エッセンス開発 データ科専用の強化 富士通リアルメンスの発展 (グローバル)

1990年代 2013年～ data

● 歯科健診制度開始

● 歯科健診費用補助制度

対象社員：25・30・35・40歳 福利厚生ポータルF Life+ (予防歯科受診)

● FJJヘルスケア予防歯科チーム

富士通グループ全社 啓発セミナー (共同開催へ)

・22年6月 富士通グループ健康宣言改定 (口腔/歯の健康対策)

・予防歯科クラウドサービス (PHR)

2016年度～

- 予防歯科クラウドPaaS開発 (2023年3月 製品リリース)
- 社内「健口啓発セミナー」(鎌田・品川)
- 市民・企業向けセミナー (東京歯科・法政・関西大・他)

データ分析/新サービス開発 各種対策検討など

リアルメンス ベジネス

北海道神志内村商談内示 (24年度) パナソニック社 IoT専らプラットフォーム共創 3月、道庁県下歯科医師会事例紹介依頼 5月、日本歯科保存学会事例紹介依頼

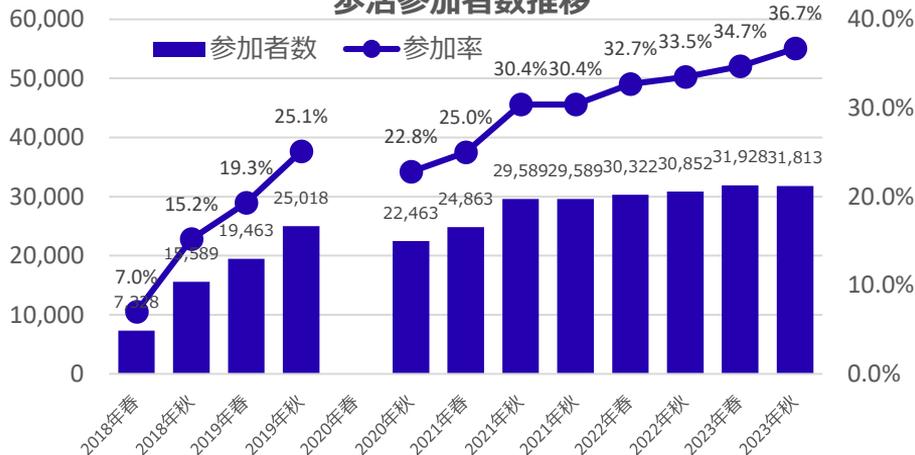
Copyright © 2024 FUJITSU LIMITED

みんなで歩活（あるかつ）

- 健康行動へのきっかけ作りとして、「KenCoM」のウォーキングイベント「みんなで歩活（あるかつ）」（年2回）を活用し、富士通グループ全社ウォーキングイベントを開催



歩活参加者数推移



みんなで禁煙チャレンジ

- 「富士通グループは禁煙を推進する」ことを明確に示し、喫煙者・非喫煙者を含めたグループ全社員の喫煙への関心を高めるため、チームで禁煙にチャレンジする。

禁煙チャレンジ推移（累積）



■ 新・禁煙チャレンジ～禁煙への冒険の旅

冒険の書のアプリを使用し、ゲーム感覚で1日1日ミッションをクリアし駒を進めて3日間の禁煙を目指す。冒険者（チャレンジャー）と仲間（サポーター）でパーティ（チーム）を組んでも、冒険者（チャレンジャー）だけでパーティ（チーム）を組むなど編成は自由。各パーティ（チーム）には禁煙アドバイザーが入りますので1人参加の方も安心。



<職場環境整備> 健康通信簿 組織の健康状態の見える化 FUJITSU

■ 組織毎の健康状態（健康診断結果、ストレスチェック、生活習慣、健康づくり活動参加、医療費などデータ）を見える化

■ 人事、産業保健スタッフ（産業医・保健師など）から組織長にフィードバックを行い、組織における健康についても課題を共有する。

■ ストレスチェック集団分析結果のフィードバックの同時に実施

